



SPIO

Newsletter

公益財団法人
国際耳鼻咽喉科学振興会

第 **19** 号
平成31年4月25日(木)

ご挨拶

理事長 野村 恭也



皆様には日頃より SPIO にご理解とご支援を頂き感謝しております。

SPIO は助成財団として、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学関連の臨床、基礎研究に広く助成を行ってまいりました。戸田俊太郎様のご寄附による『戸田 SPIO 奨学金』は、留学あるいは国際学会で発表する人への助成で10年間に55名が受けました。杉田麟也先生のご寄附による『杉田 SPIO 研究助成金』は、来日した外国人留学生に贈呈されましたが、その数は6年間で16人に及んでおります。これらの助成は平成28年度(2016年度)で終了いたしました。長年にわたり SPIO を援助して下さったお二人に心より御礼を申し上げます。

2018年度より曾田豊二 SPIO 奨学金、曾田豊二 SPIO 研究助成金が発足いたしました。これらは SPIO 前理事長 曾田豊二先生のご寄附によるものです。2019年度は、日本人留学生には1人100万円の助成を5名以内、外国人留学生3名程度には月25万円の助成に拡大します。募集に関しては、全国の医育機関にすでにご案内を送付し、SPIO の HP にも掲載しております。

『発展途上国耳科手術支援事業』は、仙台中耳サージセンターの湯浅 涼先生が行ってきたブータンにおける国際支援事業です。先生のご努力により6年間継続し本年2月に終了いたしました。第8回(最終回)事業には SPIO より小川 郁理事が同行いたしました。(詳細は2ページ)

以上、SPIO の近況について述べてまいりましたが、SPIO の運営、助成は寄附金並びに賛助費によりすべて行われております。どうか皆様からの温かいご支援をお願い申し上げます。

コストコSPIO研究助成金

今年度も国際的に有意義な研究に対する助成として、以下の3件の研究に対して各々100万円を助成しました。

- (1) 機能性難聴の診断(昭和大 小林 一女)
- (2) 内耳易受傷性に与える概日リズムの影響の検討(東京大 山嵜 達也)
- (3) 乳幼児コミュニケーション発達質問紙の開発(0~24か月)(昭和大 進藤 美津子)

平成30年度事業報告

- 1 留学生(2名)への研究助成
- 2 若手日本人(9名)への助成
- 3 国際的に有意義な研究への助成(3件)
- 4 SPIO Award の表彰
- 5 国際学術会議等開催助成(10件)
- 6 寄附金募集助成(41件)
- 7 その他(ホームページ、ニュースレター他)

平成30年度事業報告及び収支決算報告

6月開催の評議員会終了後に、ホームページを更新致しますのでご覧ください。

平成30年度 SPIO Award

平成30年度は、ANL に掲載された原著論文145編の中から候補対象となる81編を各領域を専門とする英文誌委員会のメンバーで審査し、最終的に SPIO Award 候補論文として6編が推薦されました。その後 SPIO 選考委員会および理事会で選考した結果、鹿児島大学 間世田 佳子 氏が選ばれ日耳鼻総会時に賞状と賞金50万円を贈呈します。

Yoshiko Maseda : Mucosal and systemic immune response to sublingual or intranasal immunization with phosphorylcholine
ANL Vol.45, No.2, 273-280, 2018

SPIOクラブ

第120回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会の会期中、黒野 祐一 会長のご好意により会場内に SPIO クラブを設け、SPIO の助成活動のご案内及び賛助員の申し込み受付を行います。皆様から自由に懇談いただける場、情報交換の場として、是非お立ち寄りください。

令和元年5月9日(木)・5月10日(金)
10:00~17:00
大阪国際会議場(グランキューブ大阪)
10階 会議室1010